

健康経営の取り組み

フコックス



鎮目社長

フコックス（鎮目隆雄社長、東京都江東区）ではかねて健康経営に取り組んでいたが、認証取得など本格的に鎮目社長が関わりを持つように

なったのは、知合いの若手経営者がきっかけだったという。
「よいことは積極的に自社に採り入れたい」という同社長。同業者の勉強会にも積極的に出席し、社長自ら「健康」について日々、学んでいる。
健康経営によりドライバーや若手の獲得ももちろん目指しているが、

社員が笑っていられる会社 いてよかったと思える会社

「社員が笑っていられる会社、最終的に『いてよかった』と思える会社にしたい。そのためには健康が必要」と述べる。健康診断の再受診や禁煙の取り組みが認められ、今年、健康経営優良法人ネクストブライト1000を取得した。

来年90周年を迎える同社では、現在、グループ会社を含め約330人の社員・パートがいる。また営業所は全国各地にあり、社員が一堂に会する機会はなかなかないという。かつて、社員の野球大会や慰安旅行といった行事があったが、「時代

の流れで変えていった。今後、どういったレクリエーションが好まれるのか若手の意見を聞きながら、社員が一緒に取り組める健康的なイベントを計画したい」と話す。

こうした取り組みの一方、徐々に現場の健康経営の理解も進んできた同社では、社員の働く場所の改善が精神衛生にも良いという考えで営業所を改装。今後、各地で順次行っていくという。

また、健康をはじめさまざまなことを相談できる匿名の相談場所の設置を計画している。（荒沼 澤）

（レギュラー・早瀬勇二）